

参議院選挙

改憲勢力が3分の2超える 草の根からのたたかいを強めよう

7月10日に投開票された参議院選挙で、自民党・公明党・日本維新の会・国民民主党などの「改憲」勢力が3分の2を超える議席を得ました。岸田首相は早期の改憲発議にむけたとりくみを進めると表明していますが、国民が求めているのは憲法9条を守り急激な物価の高騰からくらしを守ることです。草の根からのたたかいを強めてがんばりましょう。

なお、北海道選挙区（定数3）は自民党が2議席（長谷川岳氏・船橋利実氏）、立憲民主党が1議席（徳永エリ氏）を獲得しました。

小樽一般労組

第2回・第3回の「合同会議・学習会」

小樽一般労組は4月から毎月「合同会議」（学習会）を開いています。2回目は5月21日に、道本部の竹田執行委員（北海道鉄道本部委員長・道労連事務局次長）を講師に「労働者・労働組合の権利」のテーマで全労連「わくわく講座」テキスト第2章を使って10人が学習しました。労働基準法や労働組合法をもとに、守られるべき権利を行使するには労働組合の役割がカナメとなり、声をあげる労働者の力が職場に変化をつくり社会を変える原動力になるという講演に、参加者からは職場や地域での活動状況や要求作りなど組合活動において課題となっている点などが出されました。講師は「一人じゃできないことも、みんなで力を合わせて学習活動を継続しながら、楽しい組合運動をめざして取り組みましょう」と呼びかけ、この日の学習会を終えました。

第3回は6月26日に開催し、2つの支部から7名の仲間が参加しました。当初は「私たち労働者の賃金の決められ方」を予定していましたが、講師の都合でテーマを「私たちの要求実現と参議院選挙」に変更して自由討議をおこないました。国が進める薬価引き下げにより売上高の減少が続く製薬業界、住宅の新築が減ることにより水道機材の売り上げが伸びない部品メーカーのおかれた状況から、売り上げが伸びるためにはどのような社会に変わることが必要か、実現するために私たちはどんなことができるのかと意見交換をおこない、日々の活動と政治との関連性を学び合いました。

釧路・太平洋運輸分会が春闘妥結＝昇給 3,000円

釧路地域支部太平洋運輸分会は7月13日に「昇給 3,000円」で春闘を妥結しました。一時金については7月中に決まる予定です。

北海道交運共闘が労働局要請

北海道交運共闘は7月8日に北海道労働局への要請をおこないました。この日は建交労から道本部の森国委員長、宮澤書記長、北海道鉄道本部の竹田委員長が参加しました。（＝詳細は続報）